

8月のおたより

例年よりちょっと遅く植えた図書館の緑のカーテンの中に、今朝やっと一輪の赤紫の朝顔の花を発見。昔は夏休みといえば子どもや孫達が学校から持ち帰り自宅観察をしていた鉢植えの朝顔が、庭先に並んで色とりどりの花を楽しませてくれたものでしたが、最近はとんと見なくなっていたので、この発見はとても新鮮でした。朝9時頃でも30度近いこの暑さの中で、ホッと目を引く涼しげな風情でした。いよいよ8月。さてこの酷暑の月をどう過ごしたらよいものか溜め息が出そうです。

「八月や六日九日十五日」という俳句があります。いつ、何を讀んでこの句を知ったのか定かではないのですが、8月になるとふっと口をついて出てくる句なのです。調べてみました。「八月(や)」「八月(に)」「八月(は)」「八月(の)」など上の句の一字は違うものの、この句には何人もの作者がいることがわかりました。最初に詠んだ人は不明で、結局作者未詳となっているのですが。ある文筆家は「さまざまな人が同じ句を詠んでるから、この句を、私は類句概念を越えた国民全員の俳句として共有したい。」と書いています。(小島健・「俳壇」)

もちろん6日は広島原爆の日、9日は長崎原爆の日、15日は終戦の日のことですが、いずれも「戦争を忘れないようにしよう」という気持ちを込めて詠まれたとされています。どこに原爆が投下されたのかも知らない、この句を讀んでもどういうことを言っているのか意味不明という若い世代も増えてきているということを知ると、語り継ぐ世代の高齢化や減少を考えると、やはり8月になったらこの事に触れていかななくてはならないと思います。犠牲になられた方々への真の供養は、「忘れない」ということではないでしょうか。忘れない方法はいろいろあるでしょう。図書館には、資料がいっぱいあります。是非ご利用ください。【文・河浦図書館長】

～新着本紹介～

『#若者の本音図鑑』 椎名雄一/著 学びリンク	『さよならの向う側』 清水晴木/著 マイクロマガジン社	生物学的に、しょうがない! 石川幹人/著 サンマーク出版	二人の嘘 一雫ライオン/著 幻冬舎
『きみとぼくがつくるもの』 オリヴァー・ジェファース/作 tupera tupera/訳 ほるぷ出版	『あなたがいたところ』 中澤晶子/作 ささめやゆき/絵 汐文社	じまの全力おうち遊び じまの/著 山下あやね/監修 プティック社	ひきこもり国語辞典 松田武己/監修 時事通信出版局
		暁の宇品 堀川恵子/著 講談社	かん口飴食堂へようこそ かん口株式会社/著 小学館
		福沢諭吉が見た150年前の世界 福沢諭吉/著 武田知弘/訳・解説 彩図社	

一般書

児童書・絵本

今月の展示コーナー



【SDGs 持続可能な開発目標】
近年、よく耳にしますね。まずは出来るものから取り組んでみませんか?

【平和ってどんなこと】
平和について読んで知って考えてみませんか?

8/8 なつのおはなし会 開催しました!

- ～プログラム～
- 紙芝居『あぶらぜみのあぶちゃん』
高家博成/脚本 タダサトシ/絵 童心社
 - 絵本『うみのそとたんけん』
中川ひろたか/文 澤野秋文/絵 アリス館
 - うたあそび『カニさんチョッキン』
 - 大型絵本『うらしまたろう』
メルヘン立体童話企画/制作
佐竹玲/文 メイト
 - かんたん工作『おさかなを作ろう!』

今回のテーマは【なつのいきもの】お話の中にも、たくさん登場しました。工作では色とりどりの魚たちが完成しました。館内に泳いでいますのでご覧ください。

第1号! 「気兼ねなく図書館でゆったり(のんびり)過ごしてください!」という思いを込めて、この名前にしました。



平成26年4月に発行した第1号から今月で100号を発行することができました。これからも、たくさん情報を発信していきます!

いるか号巡回	9月日程	大江出張所 みんなの家・ひだまり	9日
宮野河内	8日・22日	下田	14日
富津・新合	15日	上河内	28日
一町田	28日	大江・高浜	30日
社協・桜ん里・古江		福連木・宮地岳	
河浦小	15日・16日	天草小	28日・30日
河浦中	8日	天草中	2日

※天候状態によっては巡回を中止することがありますので、あらかじめご了承ください。

★★図書館探検★★



先月、河浦小学校の2年生19人が図書館探検に来てくれました。子ども達からの楽しい質問タイムの後は、本を探したり読んだりして過ごしました。これからも、図書館をたくさん利用してください。

お礼のお手紙も頂きました!館内に掲示しています!

天草市立図書館からのおねがい

- 新型コロナウイルス感染症予防対策のご協力をお願いします
- 入館の際の検温
 - 手指の消毒
 - マイバッグの持参
 - 短時間の利用にご協力ください
 - マスクの着用
 - こまめな手洗い



『聞かせて、おじいちゃん 原爆の語り部・森政忠雄さんの決意』
横田明子/著 山田朗/監修 国土社 2021年5月

話したくない。あんなにおそろしくてつらいことは、早く忘れてしまいたい。だれにも語らず59年間を過ごしたおじいちゃんが、孫に「自由研究にするから原爆の話をしてほしい。」と言われて、はじめて語りはじめたのです。お願いします。忘れないでください。原爆のこと、広島のこと。

他に「戦争にいったま」いしいゆみ/作 大庭賢哉/絵 静山社 2020年6月
「だれにも話さなかった祖父のこと」マイケル・モーパーゴ/文 ジェマ・オチャラハン/絵 片岡しのぶ/訳 あすなろ書房 2015年2月 なども。